

進路だより

発行：平成24年7月19日

1 合格体験記から

「学習時間をしっかり確保しましょう」

京都府立大学生命環境学部食保健学科卒業

①学習方法について

授業後、図書学習室（自習室）に放課後まで籠って勉強しました。疑問点があった場合でもすぐに先生に質問にいけるし、自宅学習は誘惑が多いのでお勧めします。土日で授業がないときも、平日と同じ時間に起きて、朝から夜まで図書学習室（自習室）に籠りました。

②大学受験に対する心がまえ

大学受験は4年生の頃から始まっていると思うべきです。4、5年生の勉強が雑だと基礎学力がついていないため、6年生で受験対策をしようとしても1からの勉強になり試験日までに全科目のカバーができません。(特に現役の方は)最後の1年くらいは他の欲望は全て捨てる勢いで1日10時間以上は勉強した方が良いでしょう。

③その他伝えたいこと

私の学科は少人数制で先生との距離が非常に近いのが特徴です。卒業時に管理栄養士の国家試験があるため、通常の大学生よりは必須単位数も多く忙しいですが、本当に充実した楽しい大学生活を送れました。卒業後の進路としては、主に食品会社、学校、病院、公務員などがあります。一般企業への就活は何十社もせねばならないことも多いですが、管理栄養士として就活する場合、面接を一度受けただけで決まる人も稀ではありません。世の中やはり資格です。

「小さな日々の繰り返しで、自分の将来の可能性を切り開く」

東京大学法学部在学中

①学習方法について

「大学受験」というと今の段階では（そしてもしかしたら合格するまで）あまりポジティブなイメージは抱けないかもしれません。漠然とした不安を前に不合理を感じることもあると思います。もっとも実際のところ、どこの大学に行ったとしても、より大事なのはどのように4年間を過ごすのか、なのかもしれません。

しかし、大学受験は自分の努力の成果によって4年間過ごす環境を決められるチャンスとも言えます。その後どう過ごすのかは自分次第とはいえ、自分で環境を大きく変えるのは簡単ではありません。そしてそのような機会は大学に入って以降はあまりないかもしれません。今はイメージしづらいかもかもしれませんが、目標が明確に与えられていて、かつ勉強するだけで変化がもたらされる可能性が開かれているという状況は、ある種の息苦しさを感ずる反面、大きなチャンスでもあるのです。

もっとも、将来のことばかりを気にして今も楽しめなくなるのも、それはそれで将来したいことができない現実と直面するのと同じ位もったいないことです。明日1日で考え方や将来の展望が変わる経験をするのもあるでしょう。とりわけ高校時代はそういう経験の宝庫であるように思います。

冒頭に書いたように受験は重要なチャンスですが、そればかり気にしても後から逆に後悔することにもなるでしょう。あくまで頭の片隅にその重要性を常に置きつつ、あくまで存分に高校生活を楽しむというスタンスでも構わないと思います。ただし、最低限として、受験は重要なチャンスであるということをお忘れずに毎日の授業に積極的に参加することは心がけてみてください。

4年生の時から1日1時間でも家で予習、復習するのと、しないのと、授業に積極的に参加するのと、しないのとではその蓄積がやがて大きな、取り返すことができない差となって表れます。私自身、6年

生の時に4年生の過ごし方を振り返ると後悔の方が多かったですが、数学の予習だけは毎日欠かさなかったことに後から随分救われたように感じたと覚えています。

ちょっとしたことですが、この小さな日々の繰り返しによって得られた知識、勉強の習慣というものが、自身の将来の可能性を切り開いてくれるとともに、大学進学後も大いに役立つことと思います。

②参考となった参考書・問題集

自由英作文編・英作文のトレーニング（Z会出版）

英作文を書けるようになる一番の近道は例文を地道に暗記することです。この本の巻末についている例文集を受験直前期まで繰り返し見て覚えようとしていました。いったん例文を覚えた後は文法知識と単語知識を動員して、覚えた例文を応用する練習をすると良いと思います。この問題集は自由英作文の問題が多く掲載されており、解説も充実していたので大変重宝しました。

NEW青木世界史B講義の実況中継（語学春秋社）

淡々と史実を記述していくのではなく、歴史上の人物のちょっとした裏話なんかを交えつつ、それでいて歴史背景についてはじっくり解説してくれる参考書です。歴史の流れのなかで史実を掴めるようになり、これを読んで大いに世界史への興味が湧きました。口語調なので読みやすいのですが、量が膨大なので一気に読むものではありません。学校の授業と並行して読み進めると授業の理解度がぐっと深まるかもしれません。